

ふるさと教育 取組事例

学校名	大田市立鳥井小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3・4	総合的な 学習の時間	ぶどう名人に教えてもらおう	鳥井町ぶどう生産組合、JA職員 鳥井のぶどう
ねらい		年間を通してぶどう栽培をすることを通して、鳥井地区のぶどう生産者の方々の努力や苦勞、願いを知るとともに、ふるさと鳥井に対する愛着心を育てる。	
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ジベレリン処理体験（デラウエア）（5月） ●生産者の方からお話を聞く（5月） ●収穫体験（デラウエア）（7月） ●剪定・肥料散布体験（3月予定） <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 （ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から） 鳥井地区の農家で広く生産されている「ぶどう」を学習の題材とすることで、地域を身近に感じられるようにするとともに、地域の生産者さんのぶどう栽培の努力や苦勞、願いを知ることによって鳥井町の素晴らしさを実感できるようにした。 （学力育成の視点から） 生産者の方からぶどうやその育て方について教えていただきながら、自分も鳥井の自慢のぶどうを育てたいという意欲を高めたり、自分の力で疑問を解決しようとしたりする主体性を育成するとともに、学んだことをまとめて発表する活動を通して表現力の育成をねらった。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） （ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から） 漠然と知っていた鳥井のぶどうについて、個の学習を通して生産者さんの努力や苦勞、願いを知り、鳥井のぶどうの良さをたくさんの人に知ってもらいたいという思いを持つとともに、鳥井のぶどうの素晴らしさに触れたことで、ふるさと鳥井を誇らしく感じている児童が多くいた。 （学力育成の視点から） ぶどうについて調べ学習を行った。品種や育て方など自分で調べたいことを決めて、わかったことをまとめ、発表した。</p> <p>4 課題や今後の展望 学校でぶどう園を設置しているが、栽培については素人ができるものではない。JAさんや生産者さんのご協力に頼るところが大きく、今後も継続的な協力をお願いしたい。また、まちづくりセンター（まちセン）にも協力を依頼し、地域の生産者さんとの連絡調整をお願いしたり、活動について一緒に考えたりしていきたい。</p>			

